

タイトル「2020年度 経済学部シラバス」、フォルダ「2020年度 経済学部シラバス」
シラバスの詳細は以下となります。



| | | | |
|----------------|---|---------------------|----|
| 科目名 | 開発経済学 | | |
| 担当教員 | 金澤 孝彰 | | |
| 対象学年 | | クラス | E1 |
| 講義室 | | 開講学期 | |
| 曜日・時限 | | 単位区分 | |
| 授業形態 | 講義 | 単位数 | 2 |
| 準備事項 | | | |
| 備考 | 標準履修年次 2・3年次 | | |
| 科目名(英語表記) | Development Economics | | |
| 授業の概要・ねらい | 本講義では、指定教科書をベースにして、開発途上国の経済発展を考察の対象に、まず、経済発展のための理論的基礎を整理し、それをふまえた上で、経済発展の諸要因を理解し、貧困削減や環境問題など途上国が目下抱える構造的課題点を把握し、さらに、それらの問題に対して開発援助等での問題解決のあり方を考察していく。 | | |
| 授業計画 | 第16回に単位認定試験を行う。 | | |
| | 回 | 内容 | |
| | 1 | 概論:開発経済学とはどのような学問か? | |
| | 2 | 開発途上国の経済発展 | |
| | 3 | 経済成長論その①(新古典派経済成長論) | |
| | 4 | 経済成長論その②(内生的経済成長論) | |
| | 5 | 貧困の罨 | |
| | 6 | 中所得国の罨 | |
| | 7 | 国際貿易・海外直接投資 | |
| | 8 | 産業集積 | |
| | 9 | 社会関係資本・社会ネットワーク | |
| | 10 | 社会・経済制度 | |
| | 11 | 経済発展の政治経済学 | |
| | 12 | 農村開発 | |
| | 13 | 農村金融 | |
| | 14 | 経済協力 | |
| 15 | まとめ(総括) | | |
| 到達目標 | 受講学生各自が、開発途上国の経済をめぐる諸問題の理論的、制度的、歴史的背景を把握し、また、援助の取り組みを理解することを通じて、開発途上国にとどまらない貧困問題への取り組みを考察できるようにし、卒業後のキャリアの実践に役立てていくように誘っていく。 | | |
| 成績評価の基準と方法 | 第16回に行う単位認定試験による評価を80%とし、指定教科書各章末の練習問題提出や不定期の課題レポートの提出を20%とする。 | | |
| 教科書 | 『開発経済学入門』(戸堂康之(著)、新世社、2015年) | | |
| 参考書・参考文献 | 『ストーリーで学ぶ開発経済学』(黒崎卓・栗田匡相[著]、有斐閣ストゥディア、2016年) 『テキストブック開発経済学[第3版]』(ジェトロ・アジア経済研究所・黒岩郁雄・高橋和志・山形辰史(編)有斐閣、2015年刊行) | | |
| 履修上の注意・メッセージ | 毎回出席すること | | |
| 履修する上で必要な事項 | なし | | |
| 受講を推奨する関連科目 | 東アジア経済発展論、グローバルエコノミクス、ワールドエコノミー、国際開発論、現代中国経済論 (とくに今年度前期開講の東アジア経済発展論での使用教科書には、本講義でとりあげるのと内容的に重複・関連する箇所がある) | | |
| 授業時間外学修についての指示 | 使用教科書が5年前の発行となっているので、最近の動向に関しては『日本経済新聞』の国際面での途上国関連記事や開発援助関連記事や論説にも目を通していただく。 教科書の予習復習の際は、参考書として指定した2冊も読んでいただくこと。 | | |
| 授業理解を深める方法 | SDGsや貧困と援助に関する書物が数多く出ているので、それらを読む習慣をつけていただくこと。 | | |
| その他連絡事項 | なし | | |
| オフィスアワー | 前期:火曜日 16時30分~18時00分 訪問先:西3号館 金澤研究室 | | |
| 科目ナンバリング | E238001GJ | | |